

大 阪 府 産 蜘蛛 目 録 (2)

八 木 沼 健 夫

(大阪市住吉区鷺合町 173 番地)

A list of spiders from Osaka Prefecture. (Part II)

By Takeo Yaginuma

Acta Anachnologica. Vol. 3. No. 1. (1938) に於て、大阪府産の蜘蛛類 156 種の目録を編んだが、其後の調査の結果、26種を新に追加するを得たので、同目録(2)としてここに掲げる。この中、*印のものは大阪府に於て稀薄な存在であり、今までに1頭或は數頭得たのみである。(括弧せるものは追加せる科である)

目 録 (追加)

Fam. Dysderidae キノシグモ科

- *157. *Segestria nipponica* Kishida エンマグモ

Fam. Dictynidae ハグモ科

- *158. *Lathys ocellata* Boesenberg et Strand キイロカレハグモ

Fam. Uloboridae ウツグモ科

159. *Uloborus dubius* Boesenberg et Strand ウツグモ

(Fam. Psechridae ボロアミグモ科)

- *160. *Boroaxmia psechiroides* Kishida ボロアミグモ

(Fam. Oecobiidae チリグモ科)

- *161. *Oecobius nipponicus* Kishida チリグモ

Fam. Linyphiidae **サラグモ科**

- *164. *Linyphia albolimbata* Karsch ヘリジロサラグモ
165. *Linyphia yunohamensis* Boesenberg et Strand ヒノハマサラグモ

166. *Araneus saganus* Boesenberg et Strand サガオ = グモ

- Fam. Pisauridae キシグモ科

- Fam. Pholcidae ユウレイグモ科

- Fam. Lycosidae ドクグモ科

- *176. *Lycosa clercki* Boesenberg et Strand シケデドクグモ
*177. *Lycosa submylacea* Boesenberg et Strand チヤイロドクグモ (新種)

Fam. Thomisidae カニグモ科

- *178. *Oxytate setosa* Karsch クロダワカバグモ
179. *Philodromus aureolus japonicola* Boesenberg et Strand アサヒカニグモ

Fam. Salticidae ハヘトリグモ科

- *180. *Hasarius doenitzii* Karsch デーニッツハヘトリ
 *181. *Jotus abnormis* Boesenberg et Strand チャイロアサヒハヘトリ
 *182. *Jotus difficilis* Boesenberg et Strand マガネアサヒハヘトリ

以上26種追加の結果、現在大阪府産の蜘蛛は28科94属 182 種となる。

終りに、査定の勞をとられた植村利夫氏に、資料を提供下さつた引田茂、田中正行、小村忠夫の諸氏に謝意を表する。

ゴ ミ グ モ の 結 合

加 藤 正 世

6月3日の朝 庭先の生垣の前を通ると、いつものゴミグモの網に眼をやつた。毎は網の真中にふえて行くゴミの量に興味を持ち乍ら。すると上の方のらち絲に雄が取りすがつて徐ろに雌の方に近づいて居る處であつた。こいつは占めたと早速カメラを取りに馳け戻つて、再び來た時にはるの居た近くの網の上に雌が來て居て全く結合して居る最中であつた。此の場面のをがしてはとレンズを向けてのぞいて見るがどうも幾分逆光線になるので、色々に位置をかへて、これならばと思つてシャッターを押さうとした。瞬間、俄然何物にか驚いた様に分離して、雌は元の處へ戻り、雄は宙ぶらりんに下つてしまつた。しまつたと思つたがこればかりはどうにもならない。やがて雄が絲を手繰つて元の位置に來て一番最初の姿勢になつたので、十日のヤマメではあるが一枚撮影した。今度の號には焼付の時間がないので間に合はないが、次號には御目にかけられると思ふ。

米 峰 先 生 と 蜘蛛

本會幹事高島春雄氏の御尊父米峰先生は、昨年臺灣へ御旅行の初、8月16日、臺北市郊外草山の旅館に於て、1頭の蜘蛛を採集して持ち歸られたが、それはアダンソンハヘトリ *Hasarius adansonii* Boesenberg et Strand の♂であつた。米峰先生をして蜘蛛を採集する氣持にならしめた御令息高島幹事の腕前もさるものながら、子を思ふ先生の親心に私達も大いに敬意を表すべきであると思ふ。(植 村 利 夫)